源氏物語系図

物語

聽雨窓（九二）

特別
12
4435
29

源氏物語引歌

宮内省圖書寮

門へ12
號4435
巻29

昭和三十五年九月二十八日
購求

[illegible]

[illegible]

[illegible]

六番　左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
六位二　風けはしくとへるいさりしあんをたいひてあと
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな
左　ゆのゆけのうすいひとりはとられつる十六
右　あをやまのやまのはのつきのかたぶくをみるかな

[illegible]

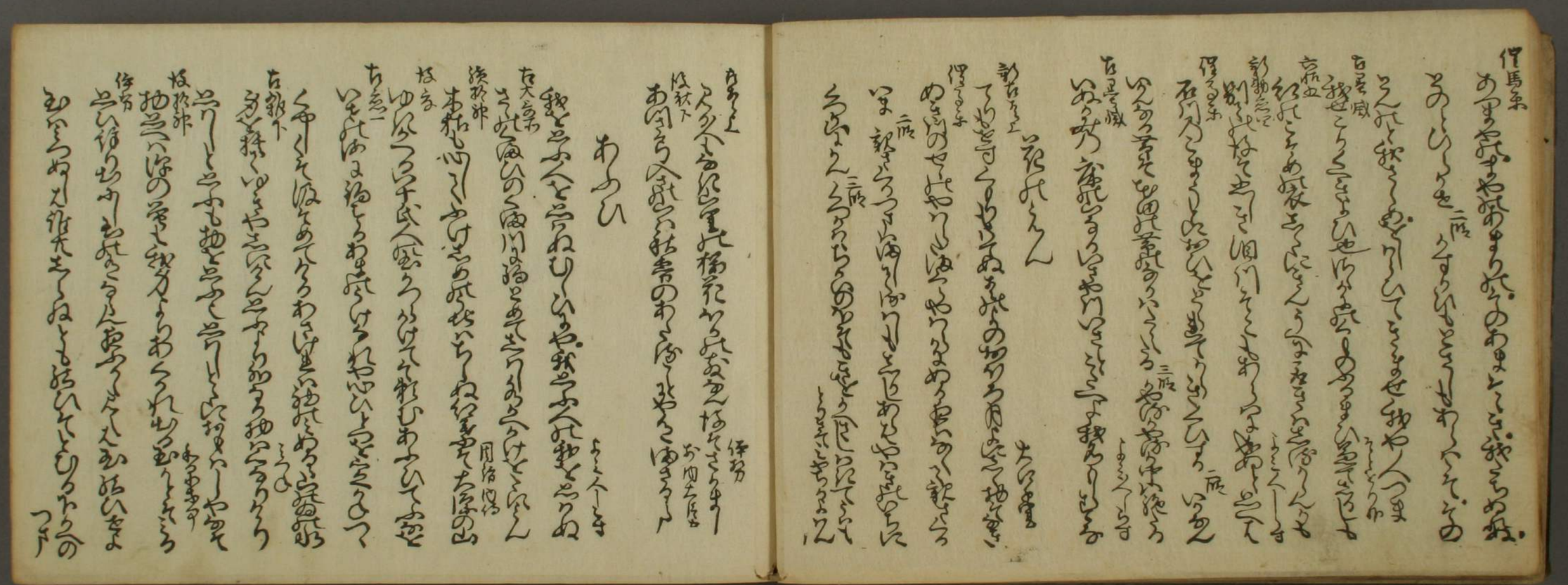
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



はる雨二

[illegible]

古今

時しもあれ秋やは人の[illegible]

後古今

[illegible]

拾遺愚

[illegible]

古今

[illegible]

はる雨二

[illegible]

拾遺愚

[illegible]

古今

[illegible]

拾遺愚

[illegible]

古今

[illegible]

万

[illegible]

拾遺愚

[illegible]

古今

[illegible]

拾遺愚

[illegible]

古今

[illegible]

万

[illegible]

拾遺愚

[illegible]

古今

[illegible]

拾遺愚

[illegible]

古今

[illegible]

拾遺愚

[illegible]

古今

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うす雲

やとうて給ふて　すあれうて　雲知れぬ

ねるまに　ねるまに人のつくらふ

くらひんねやとうて　ひいきに　ふくりは

ねんくとうてとうてとうてとうてとうて

うんやそうやまううんやうんやうんや　雲

いつめこそつまるやせんなれば　すもぬらや

そもやーやすもきあらーやそうや

雲いつまでつらみつきて　移りて

この　の　の　の　の　の　の　の

雲　人　人　人　人　人　人　人　人　人

ひすいわれし　知　とい　ん　ん　ん

雲　雲　雲　雲　雲　雲　雲　雲　雲

いつとなく　雲　雲　雲　雲　雲　雲

雲　雲　雲　雲　雲　雲　雲　雲　雲

雲　雲　雲　雲　雲　雲　雲　雲　雲

雲　雲　雲

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

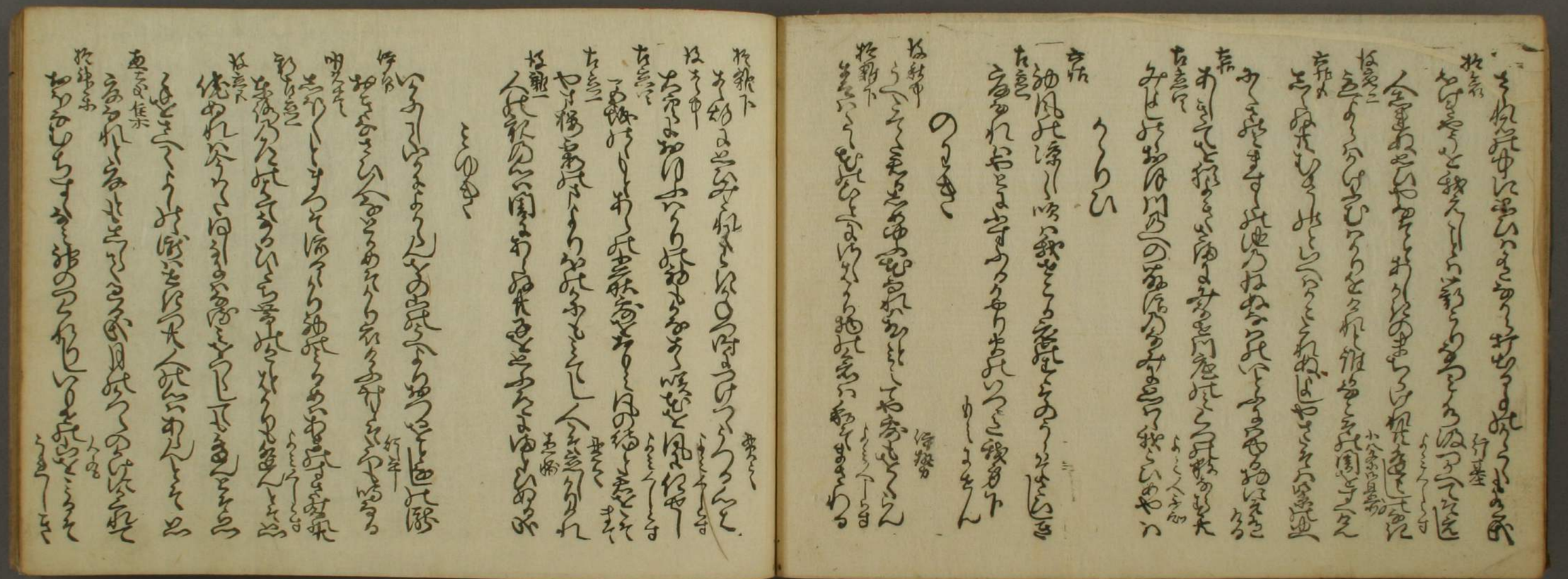
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

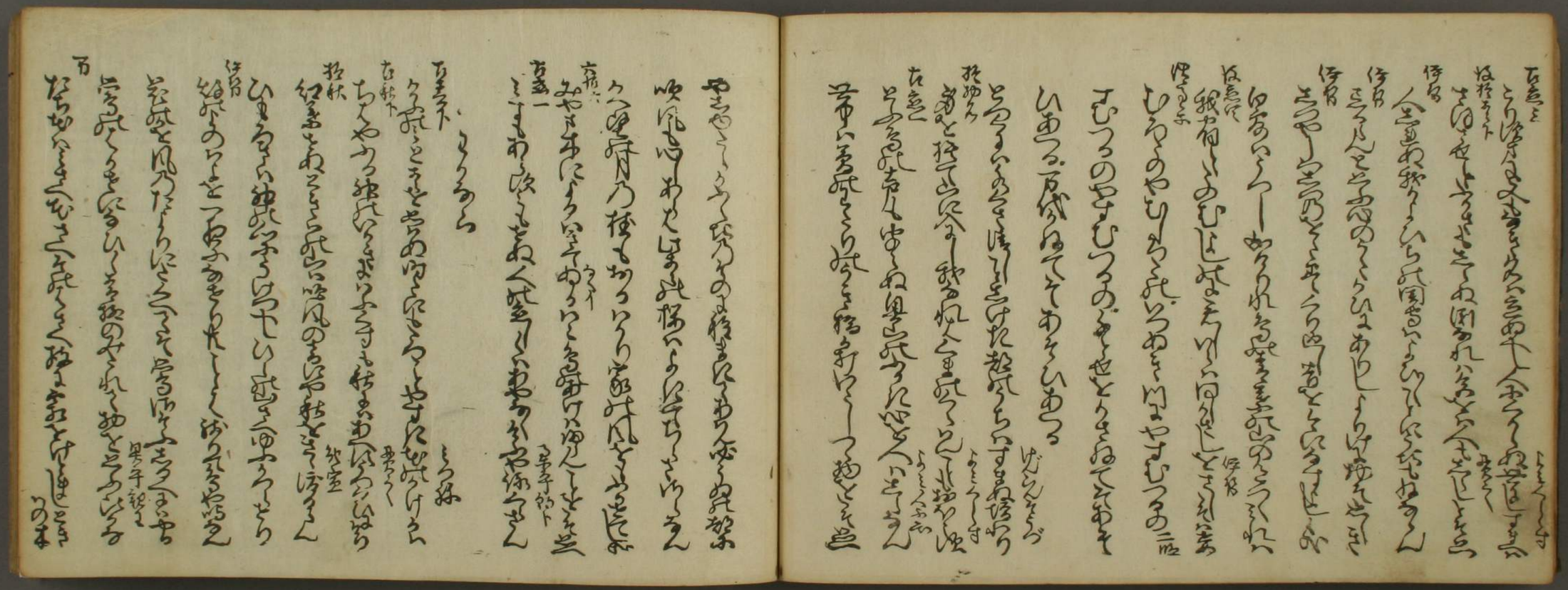
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

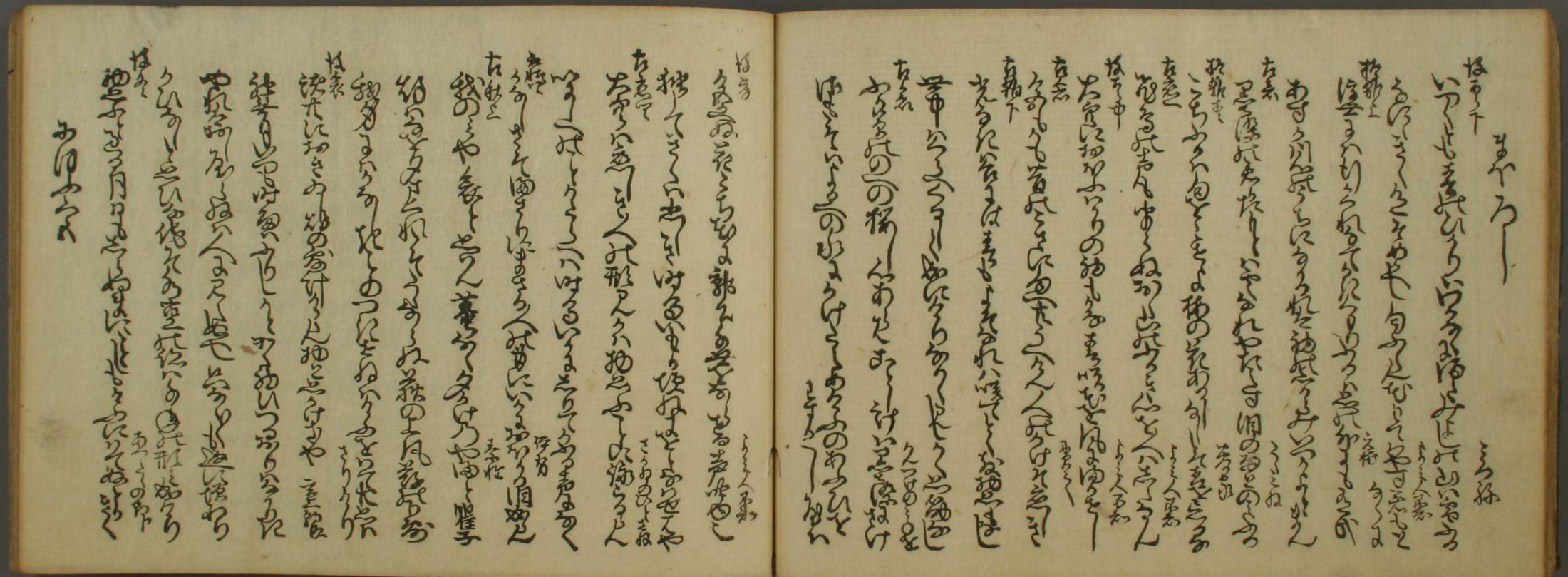
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みのり



[illegible]

[illegible]

[illegible]

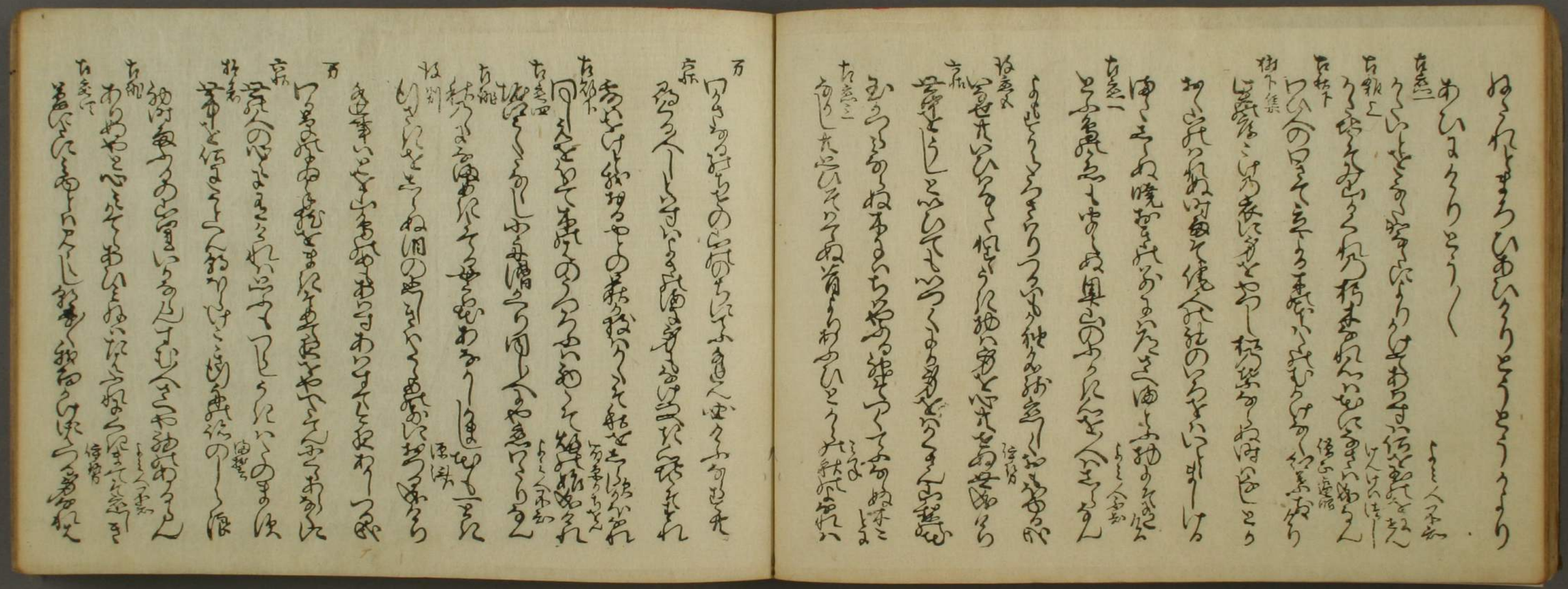
ひ部

河海

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あつまや

[illegible]

[illegible]

[illegible]

伊勢

うさぎふね

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大上天皇

葵の表よりは信をゆづりてありあさ
ゝ木のもりくゝれあめ相つぐのゝ
ゝり　ゆき付る相帝ともあり

崇徳

秋好中宮　母は左大臣の娘
葵よりあとの御子なれども
よりは御つぎ
なれて御つぎ〳〵ゝ
ゝて　御つぎ〳〵ゝ
ゝ女院中宮
ゝ皇后宮
ゝ付る御文
ゝあり

桃園式部卿の宮

[檳榔の毛の院]

ゝをゝ
ゝのいつきゝ
ゝ
ゝ服ふりて
ゝ
ゝ
ゝ

せゐふ　わさ分は　なりとあり

三の宮　院のひとつ　はしの　はしの　ひとつ　はしの　ひとつ　はしの　ひとつ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うすぎぬ三位そしく。牛車（うしのくるま）をゆるされ、じをゆるされ、しかるべきぬちとの者のうちくゝよりたゝしめるもの、ゆるされたる者をえめ夕房右大臣　毎八条上　口宣付脇

ミちづくりよりの。春宮の昇殿し給へ衣してあるべきぐしてゆるのゞる。

同月の秋除目ふりゆきのふ。

朱雀院行幸の時位授まる。

玉ぐゝよりの中納言。次ぐゝの者ゆるされ給へ者の程ゆる

中ばかりにて紅梅ゝの中ぶ
のかたつゝひまてまうでゝ
あげまきいとゝゝ

中納言　母屋内侍

六条院の御方ひろくてや
ゝひの御ゝぶ朱雀院のかぐれ
さぐく同き事日あるべし同く
まうのぼりに白
ゝ雪にのうちの大きの
とゝまりぐくもあはせ人

右大弁　母三条上

白ゝの雪ゝのうちに日出
せ一人椎ぐりにうぢ人まり
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
とゝり

侍従宰相　母ゝれとも

椎ぐりに白ゝのうちまうで
の時宮ぐ人まりゝゝ

源宰相中将　母三条上

ゝゝ蔵人かゐ行げよ三位の
中将同考ゝる宰相中将ゝ
權中ゐとゝゝ宰ゝ
ゝゝ同じ行ゝゝ
しゐゝとゝ

次中将　母屋内侍

竹げよ源かゐとゝゝやどり
白ゝ六ゝ
父ゐゝ
ゝゝゝ
中ゐとゝ

宰相中将　母三条上

一品宮ゝゝゝの時桂川侍

[illegible]

[illegible]

[illegible]

西宮　母美濃守

紀ノ家ノ子ノ子ハ世ニ

帥ノ宮

堂ノ六ノ子院ノ子塔ノ如クニテ

ある人ノ子ノ子ノ子

女一の宮　女院仕大臣女
一の宮ともあね
女二の宮　女　一宮と同じ
竹ぶえとも申されぬ。さて一宮は此時
品宮　女　朱雀院と同じ
女一の宮ともあり。一宮のことにて
ありゆ
女二の宮
藤壺院
葵にてしのびさいのみ。さら
木ゝ院のゆゑよりてなり
ときも。女三宮とあり

●先帝

式ゝ宮
始ハ式ゝ宮やうく〻女ゝ書

藤壺女院　紅梅の巻
相つぎ四人ありて。後つぎ
ゆゑ。紅梅ハ女ゝ
女院をとりて。後ゝ
ありゆゑ。しかづらは
大上天皇ゝ
つゝをのぐす落ゆみ
ゝれゆゑ

源氏の宮　女院
朱雀院。春宮の御ゝ
ありて女ゝ
ゆゑ。

源中納言
石蕗ゝ。柏木ゝ六条院
ゝ。しかづらせゝ
ゝ

[illegible] 朱雀院ゐかゝの[illegible]七日
皇慶章まいしく

中将
侍従
民部大輔

[illegible]三人を[illegible]
[illegible]
[illegible]

舞ゐたる室　母今のかた
[illegible]
[illegible]

[illegible]　母按察大納言女
十ばりの時、源氏の[illegible]
[illegible]
のりよりれる

[illegible]院女御　母日ひけどろのかた
[illegible]
[illegible]

●常陸の文

尚侍梨　[illegible]初音に[illegible]
源氏乃[illegible]
[illegible]
[illegible]　末摘花の[illegible]
あひ[illegible]
[illegible]

●按察大納言

相臺[illegible]
冠[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]　母三文
相つぎ[illegible]
[illegible]

中略。なおづゝよ捨ぢ納ちうす
もゝよ捨ぢ納てゝて。たゝとちゐを
引ぶし。しゐよ内ぢ。ちのゝ。ぢゝよ
ちゐ。ちゐ。いろゐちよ紙ぢの表ゐ
てゝりゐふゝをゐつゝ。白ちの
ちゝよゝ白 ワゝ白ル

ちゐ中ぢ

ゐ家よ。ゆゝ。ゐ氏のゐしゝ。ゐ家り
しゝ。ぢの家よ中略。弁ゐ。まり
あゝてゝゝるゝ。ぢゝ。ゐぢ。ゐぢ。ゐぢ
のゝの。ゐゝ。ゐの弁ゝ。ぢゝ。ゐや

家ちゐて
まゝぢゐのちゐ

ぢ三人。ゐ氏三ゐのゐゐ。ゐりゐ
しゐ。紙ぢの中ゝ。ぢゝ。ゐれて。ゐり
紙ゝ。ゐゝ。ゐりぢ。ゐのゝ。ぢとあり。

しゐよちゐ衛門。紙。捨ぢ納ちうゐ
ゐゐ。ぢゝの。ゐゝ。ゐゝ。ゐゝ。ぢ
ぢ。ゐ。ゐゝ。ゐゝ。ゐゝ。ゐゝ。ゐ

奏上　毋三文

ゐゐひの。ゐゝ。ゐ。ゐ。ゐ

[illegible]
大年。柏木は大納言[illegible]
時。一条の宮[illegible]
すべき法師[illegible]院へ参りしもい人
[illegible]。紅葉は物無[illegible]と
[illegible]行げは[illegible]大納
言[illegible]
[illegible]は白[illegible]
のゆむ[illegible]は[illegible]
[illegible]人めづ。やどり木あつまや
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]中ゑ　けいこ二人いはゝ氏おがろ月
あのもの来ゝろるまりゝて　かの除
の車ゑ人とつけてゝゝをのしゝき
弘徽殿ゝろ　ちゑ人のにとゝりせ
しゝくらしみけゝ　ものゝゝよゆね
ゝのけこでいるもけゝくゝゝや
弘徽殿大后　ひゝは弘徽殿　又の西后
朱雀院の西　毎あつらゑ自生后
うをゝめるゝゝあるゝゝるゝ人西
宮所の家の　ひのえんの考ゝゝ
殿御の大后宮　四ゝゝゆゝゝゝ
丑　寅
御月東宮　ひゝゝゝゝゝゝ
あつらゑ朱雀院ゑ　ひゝは勝月
げゝゝゝゝゝ　月東宮ゑ　ゝて
ちにゝるゝゝ　ゝの　ゝの

●右大臣　ゝゆゝゝゝゝ　ゝ
てのゝゝゝ　ゝゝゝゝ
●右大臣　ゝゝ
大ゝゝて
ゝゝゝゝ　げ三人ゝゝゝゝゝゝゝ
宮臺　今上ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
女二ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
藤宰ゝとゝゝゝゝ　三ゝげ人ゝゝ
●右大臣　行川ゝゝゝゝゝゝゝ
女　ゝゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ人のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
めゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
●右大臣　今上のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同一考えよ大ぶぶ并

次の中段　毋ちのぶ　同考えられの中段

行門よ行ぶぶ同考えよ同

真本程の上　毋中細言えよ同

ワ〜ヲトに筆の方〜文の中方に

なり〜やう毋ありて後紅葉方長・掛

家方仰ちと中ゆし〜〜時中方よめ

めまき程ハ細ととちのぶ〜られ

ゆ〜〜〜人

毋ぶ　毋ちぶの内伯

行門乃字目よ注ふ注へまらう。

夕毋目の中ま字ゆ字ゆね。毋人ゆね

とゆ〜〜は〜〜〜〜〜〜〜人

高伯　毋毋よ同じ

行門よ毋のゆぶりとけて内伯よ

なり中ぶん内へまらりまふ

●大長

古乗の門島ゆ　十ちまて長坂へまり

ゆ。行ぶゆ中文をうあり十れまて

ゆにをられゆ。卅よくなりまあ入

毋文よぶりて伊勢よくぶり

ゆぶりよのりて中ぶりくゆ

ゆ入　ワ毋行門島ゆ

●大長　〇　黄　中方の八文の四五

●大長　ゆ毋ぶ二人ゆ毋ゆまりてゆられまは

ゆ〜ゆまよ〜毋

ゆ〜ゆの文の中方　ゆられ尺〜ぶ

中陸ゆ中方　ワ毋行門ゆ毋

中陸文の中方のめ入りゆ中ゆ毋と

て方ゆよ毋ゆ〜ゆ中方ゆ毋の

陸て毋ゆ〜ゆの毋をゆりゆ陸よい

ゆちにぶて毋ゆ毋ゆまりぶ

八道播磨守

侍して播磨守をかゝるに国にすりの図さてうらかろしらとゝゆらるゝのゝよ指図をさして添山ふらりめ

ゆゝろ　母八中務親王のしまご

おとゝのゝ御をとゝれてちみまさしゝ　ゆゝ　ちゝ

つゝりて　みゝの方ゝゆゝ

●指案大納言

ゝゝ　母侍従律師

源氏のゝ　ゝのゝ　ゝゝ　ゝゝ

ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ

相愛ゝ　源氏のゝ　ゝゝ

ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ

ゝゝ　ゝゝ　ゝゝ

ゝゝ　ゝ

[illegible]

●右衛門督殿　母　母その尼

中納言の人の方うをはしたる乳母　無院の宣旨

●冬嗣の内大臣　明子の乳母　無院の宣旨

源氏[illegible]

[illegible]

三位中将

多武峯

[illegible]

源氏[illegible]

[illegible]

源氏[illegible]

[illegible]

十九

宰相[illegible]　[illegible]

六条院[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

兵衛尉　童[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かねの金殿　夕ぐれの夢こそあはれ
三河の国あま　夕ぐれよ　ちりのあまの
ちやうこはあらじ

●播磨守
源良清

うつるあるよがゆきとうる
ゆづるよ　初扇　そとあるよ
右中弁　ゆきてそとの雪と雨ず
あ節　しあのまそゆよなりし
よゆづれまつふらーつ人
ゆづれまつふらーつ人
ゆづれまつふらーつ人

●右中弁
弁の君

無　相木のめ
ゆまそのゆづのあのそのめそ
うりるだるよ省の事ドゆとし
人まねそそそそさつ山よ

●伊与介

ゆづれい伊与のよりびち
うめそそをあやよのゆる回まよ雨
汎伊与国　源氏ゆそなぐのゆげの高
あるーゆ・ちそやよ河内国ようる・長
あるーは　けそゆよ人ゆる地
嵯峨右大臣　源氏のたるて・無後
の伊勢　袴よつそまりるーは
一負そそりし人すり・たるよ海
の海よそ　ゆまそのゆ・ちり・ゆづの
ゆつづそそれそりのゆりて・
ゆげいのゆそりるゆる・れ見ようう
うりるり
嵯峨の右大臣　六野のちのしよあ
源氏うるをそのまのけの更あい
まて・ゆづれの花をしまゆづそ
らそてつらーらーら人

常陸帯

りくいみちのくに
のちよらくらくるる
義人 義人 毎まくのつど
ぎやよ内ちのひつらくて自元
へまりしく人
義人 右を毎盗 毎いまふのく
ちりぬるむしく のゆりとなげ
て義人よりて和方のお盗ふち
章 毎のすじ
ちるおもてのきはまて ちりあ
ふりくきてつらいまれし人
ほの細ちる書 毎まくのつま
傳後古妻 毎日ど
かれ小方 毎今ふのく
ちるのちふてとりはのい
ちぐくちりし人

太宰大貳

ちるけてくまはまし
つれちりしく人
義ちる 父のつらくまて月毎巳人
ふ帝 源氏おしくあしく人ちる
ふくく すりまくよ京よのぐ
又りちまくよ京よのぐ
毎まのちとそ
ちるの宰のお

中後妙

夕敷の上の乳毎の男
ちまくてのぐ
毎ちまくてはあづく
のちはちのくの百にくちる
沖く
三帝 はくいつにめまくけて京
のぐく
楊名妙書 みぐのまくちる

婦人切り　られてくしみあり
つきてのがるす
きりあてぶしいろき
きりあて　右
しめぶいぐてくのがりめ
●きりあて　右
右勝命下婦　わくんとさらきいろ
すきつむよ　右のり　法界三ア
きりせ　人